

StarOSの過剰なコマンドラインインターフェイス(CLI)ログイン検出のトラブルシューティング

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[トラブルシューティング](#)

[スクリプトによる問題の検出方法](#)

[解決方法](#)

[短期間](#)

[長期](#)

概要

このドキュメントでは、新しいCLIセッションのリソース不足に関してシステムから報告された問題に対処する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- StarOs

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

問題

StarOsは、特定の管理者/オペレータ/インスペクタの開始されたCLIセッションの数を監視します。開始されたセッションの数が終了したセッションの数よりも大幅に多い場合、StarOsはシステムリソースが低いことを警告します。

ログインしようとする、次の警告メッセージが表示されます。

WARNING: system resources low:

NOTE: Creating an additional CLI session during a low resource state can potentially cause service disruption.

To ignore the low resource condition and create a CLI session, enter "Y/y" within 30 seconds:

このようなシステム警告の理由は、ノードで発生している過剰なCLIセッションです。CPUリソースはタスクごとに割り当てられるため、1つのStarOSノードに同時に存在できるCLIセッションの数は制限されます。

Cisco Primeまたはその他のネットワーク管理システム(NMS)は、StarOsノードから定期的にCLI出力を収集しますが、この問題はCLIセッションがNMS側から正しく閉じていない場合に発生します。その結果、CPUリソースを消費するStarOsノードで複数のハングセッションが発生する可能性があります。

トラブルシューティング

この状況が発生すると、このイベントメッセージがログに出力されます。

これは、コマンドshow logs :

```
2017-Jul-12+11:01:07.786 [resmgr 14701 warning] [8/0/5990 <rmctrl:0> rmctrl_events.c:587]
[software internal system critical-info syslog] The resources needed for task cli/8028669 could not be allocated to any active CPU. Reason: CPU 8/0: insufficient unreserved memory (-22M avail), mem: total: 4194304, used: 1262084, reclaimable: 0, unused_reserved: 2955429, available: -23209, mem_size: 66560
```

StarOSノードは、CLIセッションの開始時にSimple Network Management Protocol(SNMP)トラップCLISessionStartを生成し、セッションの停止時にCLISessionEndトラップを生成します。どちらの場合も、関連する特定のユーザが示されています。

これは、show snmp trap history verboseコマンドを入力することで確認できます。

```
Tue Jul 11 18:35:22 2017 Internal trap notification 52 (CLISessionStart) user linuxcf privilege level Security Administrator ttyname /dev/pts/21
el Secur
Wed Jul 12 10:53:17 2017 Internal trap notification 53 (CLISessionEnd) user linuxcf privilege level Administrator ttyname /dev/pts/21
```

注:snmp trap suppress clisessend clisessstartを使用するノードで、これらのトラップが抑制されていないことを確認してください

スクリプトによる問題の検出方法

スクリプトは、提供されたshow support details(SSD)出力からSNMPトラップとsyslogを分析してこの状況を検出するために使用されます。

スクリプトはSSD内の検索を実行し、次の条件が一致した場合に問題を報告します。

ステップ 1: このスクリプトは、show snmp trap history verboseでSNMPトラップ

CLISessionStartおよびCLISessionEndの数をカウントし、開始されたセッションの数と特定のユーザで終了したセッションの数を比較します。開始されたセッションの数が、事前定義されたしきい値である40回を超えた場合、スクリプトはステップ2に進みます。

ステップ 2 : スクリプトはshow logsを実行して、イベントID resmgr 14701 warningを探します。

ステップ 3 : スクリプトは、前のステップが一致したときに問題を出力します。

解決方法

短期間

コマンドshow administrators session idを使用して、現在アクティブなCLIセッションのリストを収集します

```
[local]gw5# show administrators session id
Administrator/Operator Name      M Login Context      Remote Addr      Session ID
-----
cisco                             local              10.149.4.25      5010152
cisco                             local              10.149.4.25      5010139
```

セッションIDまたは名前で不要なセッションを強制します。

```
clear administrator session id
```

または

```
clear administrator name
```

長期

非標準ユーザの動作を修正します。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。